

開倫塾 2024/12 NEWS

●開倫塾に学校教科書・学校問題集を

持参してください

塾長 林 明夫

●新中1準備講座・栃木県公立高校入試

新栃木校1号館校長 津久井 幸 足利西校校長 三井英明

●自己学習能力を育てよう

「学習の3段階理論」を使って結果の出せる勉強方法を身につけよう

●塾生のひろば

大平校の塾生

●私の勉強方法 No.192

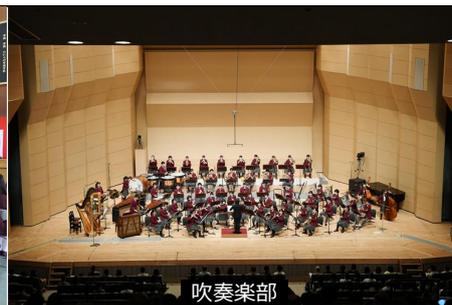
作新学院中等部(鹿沼東校) 3年 E・M

●私の勤める勉強方法 勉強の速度を上げよう!

岩舟校校長 前田 匠



卒業式



吹奏楽部



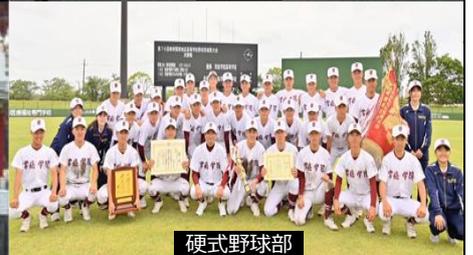
文化祭



グローバル教育



修学旅行



硬式野球部



林間学校



クラスマッチ



制服紹介

地域の学校紹介シリーズ 「地域の学校のよさを知ろう」

常総学院高等学校

常総学院高等学校は、生徒一人ひとりの目的達成のため次のようなコースを設定しています。特進選抜コース、エクセレントクラスは入学試験における成績上位者より選抜し、東京大学・医学部医学科・早慶上理などの超難関大学合格を目指します。特進クラスは、旧帝大をはじめとする国公立大学への合格を目指します。進学選抜コース、プロGRESSは発展的なカリキュラムで多様なニーズに対応し、難関私立大学や国公立大学への合格を目指します。フロンティアは、オールラウンドに挑戦し、有名大学への進学を目指します。



If you can dream, you can do it!

(もしあなたが夢をみるのであれば、あなたはそれを実現することができる)

開倫塾ホームページアドレス ● <https://kairinjyuku.jp>

第431号



開倫塾に学校教科書・学校問題集を持参してください
— 万全の「定期試験対策」を行うためです —

開倫塾 塾長 林 明夫

開倫塾教育目標
高い学力
高い国際理解
自己学習能力の育成

1. 開倫塾は、おかげさまでこの10月に創業45周年を迎えました。皆様の御理解・御協力を心から感謝いたします。ありがとうございます。

2. (1)開倫塾の塾生目標の第1は、「定期試験」でよい点数を取り、「学校成績(校内順位)大幅アップ」を図ることです。

(2)この目標を達成するためには、「学校教科書」「学校問題集」を大切に、「スミからスミまで」いねいに学び、理解すること。そして、「身に着けること(定着させること)」が欠かせません。

(3)そこで開倫塾では、「開倫塾テキスト」を学習すると同時に、これからの「定期試験」で「よい点数(できれば100点満点)」を取り、「学校成績(校内順位)大幅アップ」を実現するために、「学校教科書」「学校問題集」を、授業中と自学自習の時間に、今まで以上に学習して頂くことにいたしました。

(4)10月から、開倫塾では、「授業」と「自学自習」で、「学校教科書」「学校問題集」を使用しますので、毎回、必ず持参するようにお願いいたします。

4. (1)「学校教科書」「学校問題集」は学校に置いてこないで、必ず持ち帰ること。

(2)開倫塾に「学校教科書」「学校問題集」を持参し、開倫塾の授業を受けること。

(3)開倫塾で、夜10時30分(東京は夜10時)まで、「学校教科書」「学校問題集」を用いて「自学自習(予習、復習、定着)」すること。

○そして、10月から来年3月までに行われる「定期試験」で、全教科、できるだけよい点数(できれば100点満点)を取り、「学校成績(校内順位)大幅アップ」を目指しましょう。

5. (1)「学校成績(校内順位)大幅アップ」は、数教科だけ「よい点数(できれば100点満点)」を取るだけでは、実現しません。

(2)できるだけ多くの教科で「よい点数(できれば100点満点)」を取ることを目指しましょう。

(3)①そのためには、「学校教科書」「学校問題集」を置いてこないで、全教科、必ず持ち帰る。

②家庭学習や開倫塾の授業、開倫塾での自学自習で、積極活用。できれば、「学校教科書」は「スミからスミまで覚える」。

④「学校問題集」は何回も解き直し、できない問題をなくす。

6. 「学校教科書」「学校問題集」の「予習」「復習(定着)」の仕方

①「学校教科書」の予習の仕方
①どのような内容が書いてあるのか、たとえ5分でもよいかから教科書をゆつくり読んでみるだけでも、「予習」

としてはOKです。

②時間があつたら、教科書を読んで、よくわからないことばがあつたら「辞書」で調べ、ノートにメモ。よく知らない「用語」があつたら、教科書の説明をよく読む。ノートにその「意味」「定義」を書き写すのも素晴らしい「予習」です。

◇「予習」で一番大事なのは、一つ一つの学習項目(ポイント)について、授業の前に自分の力で考え、メモしておくこと。

(2)「学校問題集」の予習の仕方

①「教科書の予習」を一通りした後、元気があつたら「学校問題集」にチャレンジ。

②ノートに解答を書いて、授業中に答え合わせ。

③先生の説明をノートに書き込み、なぜそのような解答になるのか考える。

(3)「学校教科書」「学校問題集」の「復習(定着)」の仕方(前半)

①先生の授業を思い出し、もう一度一語一句でいねいに「学校教科書」「授業ノート」を読み直すこと。そして、「なぜ」そうなるのかを自分の力で考えること。

②教科書で学んだ範囲について「学校問題集」をノートにゆつくり解くことは、素晴らしい「復習」です。よくわからない計算や問題は「学校教科書」や「開倫塾のテキスト」を何回も読み直して考えましょう。

③それでもわからなかつたら、学校の先生や開倫塾の先生に質問してくださいね。

(4)「学校教科書」「学校問題集」の「復習(定着)」の仕方(後半)
①全教科の「学校教科書」をスラスラよ

く読めるようになるまで声を出して読む。「音読練習」と、大切なところは何も見ないで言えるようにすること(暗唱)。

②各教科の教科書に出ている「語句」や「用語」その「定義(意味)」は、描書で正確に書けるようになるまで「書き取り練習」。

③「教科書」や「学校問題集」の計算や問題は、パツパツパツと正解が出るまで、何回も解き直す。

○これが、定期試験で「よい点数(100点満点)」を取るポイントです。

7. 最後に一言
(1)小学校や中学校・高校の勉強は役に立つのか。役に立ちます。小学校の勉強は中学校で、中学校の勉強は高校で、高校の勉強は大学・短期大学・専門学校・専修学校・大学院ですべて役に立ちます。学校で勉強したことは、社会に出て仕事や社会的活動、充実した人生を送るとき、よく生きるのにすべて役立ちます。

(2)学校の教科書を「予習」し、何を勉強するかを知り、「授業」で理解を深めて、「復習(定着)」をきちんと行い、学んだことを自分のことばでいえる(表現・説明できる)ようにしましょう。

(3)その上で、「定期試験」や「入学試験」に向けて、より深い勉強を積み重ね、よい点数、定期試験では100点、入学試験では合格点を目指しましょう。「定期試験」や「入学試験」の勉強は、今までの学んだことをしっかりと身に着け、「自分のことばで言える(表現・説明できる)」ようになるのにとっても役立ちます。

10月から開倫塾に「学校教科書・学校問題集」を毎回必ず持参し、授業と自学自習に御活用ください。

*「学校教科書」「学校問題集」で基礎的な知識が身に着いたら、順次、「定期試験」の過去に出た問題や予想問題を繰り返して練習し、「応用力」を身に着けましょう。



(宇都宮大学大学院工学研究科客員教授 作新学院 大学 客員教授)

新中一準備講座

新栃木校1号館校長 津久井 幸

1. 中1生の準備は1月より開始

中学校で学習する内容は、小学校の内容と比べると格段に難易度を増します。そのため、テスト直前に教科書の見直しをする程度では、良い点数をとることが難しくなることも少なくありません。また、小学校で各単元ごとに行われていたテストとは異なり、1年間に実施されるテスト(定期試験)と呼ばれるものの回数は数回に限られます。その上、定期試験の点数が成績表に反映されるので、しっかりと知識を「定着」させ、1問でも多く問題を解けるようにしなければなりません。そこで開倫塾では、小6生で学習する内容を12月中に終了し、冬期講習から中1生の内容を先取りして行います。これが「新中1準備講座」と呼ばれる授業です。



2. 準備講座の内容

授業の内容は以下の通りです。
【英語】アルファベット・英語での挨拶・be動詞や一般動詞が入った英文を中心に学習します。各地域によって中学校で採用される教科書が異なるため、アルファベットや共通して出題される英単語の学習から始めます。教科書の基本英文を使った英作文の練習も行います。入学前に英単語をたくさん書けるようにすると共に、簡単な英文も習得することが目標です。

【数学】「正負の数」を学習します。初めて学習する負の数(ゼロより小さい数)をマイナスで表すを使った計算は、計算途中のミスが多く出やすいので、類題演習を繰り返し行い「定着」を図ります。小学校で学習した分数や小数の基礎が理解できていないと先に進むことが難しくなる単元でもあります。不安な人は早めに関心者に相談してください。

【国語】定期試験や入試に頻出の漢字、一人では学習することが難しいことわざ・慣用語、そして文法などを学習します。文法に関しては苦手な人が多いのではないのでしょうか。基本的な知識から丁寧に指導するので安心してください。

3. 学習の取り組み方

学習を進めていくなかで大切なのは、①音読練習、②書き取り練習、③問題練習、④辞書の活用、⑤意味調べノートの作成、⑥間違いノートの作成、⑦新聞の活用などが挙げられます。これらを早い時期に身に付けることは、中学校3年間のみならず、大人になってからも大いに役に立ちます。

効率的に学習する上では、「学習の3段階理論(理解・定着・応用)」に沿って進めることが大切です。一つずつお話しします。「理解」とは、授業で学習したことが「うん、なるほど」とわかることです。先生の説明を聞き漏らさず、板書を速く正確にノートに書きとる習慣を身に付けることが必要です。

「定着」とは、「理解」した内容を何も見ずにすらすらと言えらるまでに行うこと。正確に書けるまでに行うこと。基本的な問題は見た瞬間に答えられるまでに行うことです。これには音読練習や書き取り練習、計算・問題練習を繰り返すことが有効です。

「応用」とは、テストや試験で満点や合格点が取れるようになることです。数多くの多様な問題に取り組みることにより可能となります。

4. 定期試験で各教科100点を目標そう!

各教科で100点を取ることは高い目標ですが、冬期講習と新中1準備講座に真剣に取り組み、4月より始まる学校の授業に集中して臨むことができれば達成可能です。共に頑張りましょう。



栃木県公立高校入試

足利西校校長 三井 英明

1. はじめに

栃木県の公立高校入試には、「特色選抜」と「一般選抜」の2種類があります。入学者の選抜方法が異なるので、とるべき対策も変わってきます。以下に、それぞれについて説明します。

2. 特色選抜とは

一般選抜より早く、今年度は2月6・7日に実施されます。基本的には希望者は全員出願可能ですが、高校ごとに「資格要件」が設定されています。自分が要件を満たしているかどうか、必ず学校の先生に確認しましょう。募集定員は、多くの高校が定員の30%程度を上限とするよう定められています。そのため、倍率は一般選抜に比べて高く、競争は激しくなります。

選考方法は、調査書、特色選抜志願理由書、作文・小論文、面接・学校独自検査(学校作成問題、口頭試問、実技など)の結果などをもとに可否を判定します。ほとんどのものが、普段の学習では触れない試験なので、特色選抜に挑戦する場合は、それに応じた対策が必要となります。また、高校ごとに課される試験やその出題傾向が異なるので、過去にどのような問題が課されていたのかを、事前に確認しておくことも大事です。

作文・小論文は、一般選抜の国語に含まれる出題よりも字数が多く、出題内容も異なります。時間内で適切な内容・字数を書き上げる練習をしておきましょう。良い悪いの判断は自分では難しいので、先生に添削してもらってください。面接は、過去のデータをもとに、質問に対して明確な返答ができるように、先生たちと何度も練習しましょう。



3. 一般選抜とは

今年度は3月6日に実施されます。調査書(500点)と学力検査(500点)の合計点を学校によって面接を行います。これらをもとに可否が判定されます。調査書の評価は中学3年間の通知票の9教科・5段階の評定を点数化したものです。学力検査は試験当日の5教科・各100点満点の試験の合計点です。

ただし、調査書と学力検査の点数の比重は、各高校・学科で決められています。多くの学校、特に普通科は、学力検査の比重を大きくしているため、入試当日の試験結果が可否を大きく左右します。受験生の皆さんは、早めに志望校を決定して調べておいてください。

4. 学力検査で失敗しないために

開倫塾では、受験本科コースの受講生に県立高校の過去問題集を配付しています。過去問を繰り返し解き、傾向をつかんでおきましょう。
【国語】読解問題3問に加え、240字以内の作文が出題されます。最後まで解き終わるよう、時間配分に気をつけましょう。
【数学】近年はデータ活用問題が頻出しています。記述の問題も多いので途中の計算や証明などの「書く」練習をしっかりとっておきましょう。
【英語】リスニングが26点の配点なので注意が必要です。また、11分の放送後に長文読解が3問あるので、速読力が求められます。

【理科・社会】各分野・単元からまんべんなく出題されます。ヤマを張らずに苦手を分野を極力減らすよう心掛けましょう。入試本番までの時間は限られています。この先も真剣に取り組むと、試験の直前まで伸び続けることができます。自分の努力を信じて頑張りましょう。



自己学習能力を育てよう

「学習の3段階理論」を使って結果の出せる勉強方法を身に着けよう

小学部

英検5級

飯 竹 麻 衣

◆テキストの学習も終わり、いよいよ「英検5級対策」としての実践練習が始まります。確実に合格を勝ち取るために、次のことを行いましょう。まずは、テキストに載っているターゲットやブランクテキストの音読練習です。QRコードを読み取る音声練習が聞けますから、そのまねをして読んでみましょう。そのときに、イラストや書かれている英語を見ながら音読すると、試験のときに大いに役立ちます。

英検4級

谷 田 貝 友 紀

◆テキストの勉強が一通り終わりました。今日は、「英検4級対策」としてやるべき二つのことをお話します。一つ目は、テキストの音読です。英検4級ではライティングは出題されません。英語を読めたり、聞いたりする力が問われます。声を出してテキストを読み、意味がわかるように練習しましょう。もちろん、書ける方がよいので、覚えていない単語や基本文は書く練習もしましょう。

◆二つ目は、過去問の演習です。本番は筆記試験が35分、リスニングテストが30分弱で行われます。授業中に過去問を演

習しますが、できなかった問いは読んだり書いたりして確実に覚えましょう。合格を目標に、毎日、少しずつ英語を勉強しましょう。

英検3級

原 田 和 明

◆今月は、「英検3級対策」を行います。英検3級は、4、5級とは違い、ライティングが加わります。また、2次試験では面接形式のスピーキングがあり、4技能が問われる試験になります。英単語や長文のレベルも上がりますので、きちんと対策をしていきましょう。

◆まずは、塾のテキストを見直してください。わからない単語があればすぐに調べて覚えましょう。その際は、意味だけでなく発音も確認しておくことリスニング対策にもなります。ライティングはEメールに返信する問題と、質問に対する意見を書く問題が出題されます。過去問などで練習し、先生に添削してもらってください。また、時間配分も大切です。過去問演習などで時間の感覚をつかんでください。合格を目指し頑張らしましょう。

小5算数

井 腰 征 夫

◆今月は、「割合」について説明します。割合とは、ある数量を基準にしたとき、他の数量がどれだけ当たるかを表した値です。割合を「理解」するには、比べる量と、もとにする量を区別できることが大切です。例えば、500円をもとにしたとき、200円の割合を求めることを考えます。 $\frac{200}{500} = \frac{2}{5}$ と求めら



れます。この場合、比べる量は200円で、もとにする量は500円です。したがって、 $\frac{200}{500} = \frac{2}{5}$ です。言葉だけではわかりにくい場合は、線分図をかくなどして大きな関係を見えるようにすると、比べる量もとにする量の区別がしやすくなります。

小5国語

稲 垣 幸 生

◆今月は、「和語・漢語・外来語」について、それぞれの区別と特徴を学習します。和語は、もともと日本にあった言葉で、漢字やひらがなで書かれており、訓読みをすることが多く、読みやすくわかりやすい印象を受けます。漢語は、中国から入ってきた言葉で、漢字で書かれており、読みをします。和語と比べると、かたい(難しい)イメージです。外来語は、外国から入ってきた言葉で、かたかなで書かれていて新しい言葉の印象を受けます。

小6算数

寺 内 大 智

◆今月は、「角柱と円柱の体積」を学習します。重要なことは、体積の公式を覚えるようにすることです。体積は $\text{底面積} \times \text{高さ}$ で求められます。底面の形によって、底面積の求め方が違いますので、注意しましょう。四角形は $\text{底辺} \times \text{高さ} \div 2$ 、三角形は $\text{底辺} \times \text{高さ} \div 2$ 、円は $\text{半径} \times \text{半径} \times \pi$ 、 $\text{円筒} = \text{底面積} \times \text{高さ}$ です。円周率 π を用いた小数の計算です。計算演習をして、「定着」を図ってください。不安な人は、平面図形の面積を求めることから復習しましょう。

きは、実際に自分で紙を使って作ってみましょう。

小6国語

熊 谷 健

◆今月は、「同じ読み方の漢字」を学習します。漢字の読み方で、「演」と「園」のように、「えん」と同じ読みでも、意味が異なる漢字がいくつもあります。このような漢字を書き分けるためには、その漢字が使われている熟語の意味を「理解」することが大切です。「演」ならば、「演技」や「演説」、「園」ならば「農園」や「田園」といった熟語があります。「コウエン」とあれば、「講演」や「公園」公演などがありますが、読みだけで正しい漢字を書くのは難しいです。「コウエン」で遊ぶ。「公園」と答えられるようにしましょう。

中学部

中1英語

桜 井 和 弘

◆今月は、「規則動詞の過去形」を学習します。「私は昨日ギターをひきました。」は、「I played the guitar yesterday.」と表します。このように過去のことを言う時には、動詞にedを付けます。edを付ける時に注意するものは、①eで終わる動詞にはdだけ付ける (like → liked)、②語尾が短母音+子音の場合は最後の文字を重ねてedを付ける (stop → stopped)、③語尾が子音+yのものにはyをiに変えてedを付ける (study → studied)、があります。疑問文と否定文は、「did you play the guitar yesterday?」「I didn't play the guitar yesterday.」のように表します。

自己学習能力を育てよう

中1数学

伊藤 修

◆今月は、「平面図形②(おうぎ形)」を学習します。おうぎ形は円を2本の半径で切った形、つまり「円の一部分」です。したがって、おうぎ形の「弧と面積」の公式は、小学校で習った円の「円周と面積」の公式がもとになっています。しっかりと思い出しておきましょう。

◆また、中学数学では円周率を14ではなく、π(パイ)で表すので、計算はかなり楽になります。今後も、文字を使って表すことが多くなってくるので、早めに慣れましょう。公式を覚えたなら、問題演習を数多くこなし、解き方を「定着」させましょう。そして、いろいろな形へと「応用」できるようにしましょう。

中1国語

五味 久夫

◆今月は、「古文の単語」についてお話しします。古文の単語には、現代文では使われなくなった語や現代とは意味が異なる語があります。例えば、使われなくなった語は、「いと(たいへん)や、よろず(いろいろ)などです。また、現代とは意味が異なっている語には、「うつくし(かわいらしい)、あやし(不思議だ・身分が低い)、ありがたし(めったにない)」などがあります。これらのことを「理解」し、文章を読み進めましょう。

◆古文を読むときは、一度ではなく、二度三度と繰り返すと、すらすら読めるようになります。また、そのときに出てくる重要古語を覚えると、意味が読み取れます。古文を音読して、少しずつ古語の意味を覚えていきましょ。

中1理科

中 荃 賢 蔵

◆今月は、「力による現象」を学習します。私たちの周りには、色々な力があります。例えば、ねんどをこねると、ねんどは形を変えます。リュックを背負うと、リュックは背中から落ちません。野球のように、飛んできたボールをバットで打つと、ボールの動きが変わります。このように、力のはたらきには、物を変形させるはた

らき、物を支えるはたらき、物の動きを変えるはたらきの三つに分類することができるのです。

◆この内容は、様々な力の種類や力のつり合いのしくみを「理解」することが重要です。中2生や中3生の理科でも、力に関する内容は出てきます。中1生で学習した力の内容は、きちんとノートにまとめておきましょう。

中1社会

小林 祐介

◆今月の地理分野は、「南アメリカ州」を学習します。まずは気候・地形・産業・文化に分けて整理しましょう。南アメリカは、大航海時代に移り住んだヨーロッパ人や奴隷として連れてこられたアフロリカ人、そして日本人との融合で生まれた「混血」の地域です。歴史的背景を知って、より「理解」を深めましょう。

◆歴史分野は、「東アジア世界とのかかわりと社会の変動(1)」を学習します。元からの襲撃(元寇)が鎌倉幕府の滅亡につながり、明との勘合貿易は室町幕府の発展に貢献します。外国とのつながりが重要になってきます。また、琉球王国やアイヌ民族との関わりも盛んになるので、日本以外にも目を向けて覚えてください。まずは授業を熱心に聴き、教科書を熟読して「理解」し、多くの問題を解いて「定着」を図りましょう。

中2英語

高橋 則文

◆今月は、「比較①」を学習します。形容詞や副詞は、比較の文中で、tall(原級) taller(比較級) tallest(最上級)のように形を変化させます。例文を使って確認してみましょ。①2人を比べて「〜と同じくらい」と表すときは「as... as...」を使います。「私はあなたと同じくらい背が高いです。」「私はあなたと同じくらい背が低いです。」を英文にすると、「I am as tall as you.」となります。②2人を比べて「より〜か」「より〜だ」と表すときは「than...」が高いです。「私はあなたより背が低いです。」を英文にすると、「I am taller than you.」となります。③3人以上の中で「〜が一番〜だ」と表すときには

「the +...est」を使います。「私は3人の中で一番背が高いです。」を英文にすると、「I am the tallest of the three」となります。基本となる三つの形をしっかりと覚えましょ。

中2数学

古橋 慎

◆樹形図という言葉は覚えていませんか。考えられるすべての場合を順序よく整理して数えるのによく用いられる図のことです。この図を利用して、例えば3人が一列に並ぶ順番は何通りあるか、4枚のカードのうち2枚を並べて2けたの整数をつくるのとき何通りできるかなどが調べられます。

◆今回は、これまで学習してきた場合の数の中から、あることが起こると期待される程度を数で表したものの、つまり全部で何通りあり、その中から条件を満たすものが何通りあるかを分数で表記する、「確率」を学習します。さいころに関する問題やカードに関する問題などがよく出題されます。授業を通して樹形図をかく場合の考え方を「理解」し、練習を通して「定着」させてください。

中2国語

内藤 紀和

◆今月は、「付属語(助詞・助動詞)」の種類と働きについて学びます。付属語は単独で文節を作ることができません。それ単体では意味を完結できない単語ですが、前後の単語の意味を補足するという重要な役割を持っていきます。関係を表したり、意味を添えたり、話し手・書き手の気持ちや判断を表したりします。「受け身・可能・尊敬・自発...」と、文法用語も出てきます。区別して覚えてください。

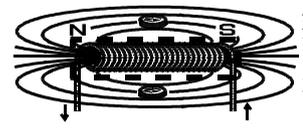
◆付属語は非常に重要な単語です。例として次のような文を考えてみましょう。「私は車で行きたい。」という文の「付属語を抜くと、「私車東京行く。」となり、付属語が無いと意味を正確に伝えることは困難です。これは一例ですが、付属語を「理解」することで、話し手や書き手の意図を「理解」することができるようになります。普段から意識して読んで

書いたりするとよい練習になります。

中2理科

川端 康祐

◆今月は、「磁界」を学習します。磁界とは磁力のはたらく範囲のことです。目には見えませんが確かに存在しているこの不思議な力は、今日、リニアモーターカーやテレビジョンカソード、スマホ、コピー機、発電機、衛星、医療機器など様々な分野で利用されています。地球自体もこの磁界で守られています。そのような磁界がどのようにはたらき、また、それをどのように利用しているのかについて興味は尽きないと思います。磁界は電流と密接に関連し極性や向きがあるため、まずはそれらについての法則を学びましょ。その上で、磁界周辺で起こる現象を「理解」していきましょ。



◆最初はわかりにくいかもしれませんが、わかるまで何度でも質問しましょ。一度「理解」すると、単なる向き合わせということに気がつくでしょう。頑張ってください。

中2社会

仁木 睦枝

◆今月の地理は、「関東地方」を学習します。まず、白地図を使って、都や県の名前と位置を確認しましょ。また、東京大都市圏を中心に自分の住む地域との産業の関わりを考えてみましょ。

◆歴史は、「日清・日露戦争と近代産業」を学習します。まず、日清戦争での勝利が日本の産業革命につながった流れをつかみましょ。そうして発展した近代産業のかけで過酷な労働条件に耐えてきた人々が、労働争議を起こすようになり、政府はこれを弾圧します。そのことで社会運動が高まり、最終的には大正デモクラシーへとつながっていきます。ここを「理解」すると歴史への興味わいてきます。興味をもって学習すると、社会の学習が楽しくなり、得意科目の一つになります。

中3英語

津久井 一 則

◆今月は、「接続詞」「前置詞」を学習します。「接続詞」は2種類あり、andやbutなどの仲間とwhenやifの仲間に分けられます。この2つの仲間が大きく異なるのが、英文を訳す順番です。andやbutの仲間の前から訳し、whenやifがある文は接続詞の後ろから訳します。文や語句をつなげるため、接続詞のある文は長くなりますので、注意が必要です。詳しくは開倫塾の授業でしっかりと学びましょう。

◆もう一つは、「前置詞」です。toやfrom等の仲間になります。これらは、時や場所を言う時にその前につけたり、動詞の連語として使われたりします。接続詞との違いは、後ろに文が来ないで名詞が来ることです。実際に授業で確認していきましょう。

中3数学

山本 信 広

◆今月は、「私立高校入試対策」についてお話しします。一番大切なのは、過去問を解いてみることです。特に数学は、受験高校によって出題傾向のばらつきが顕著な教科なので、事前準備は必須です。まずは3年分の過去問と解答用紙を用意して、時間を計り、本番の自分をイメージしながら解いてみましょう。採点は配点と難易度の兼ね合いを重視して、この問題は落とすにはいけない、この問題はあまり考えずに飛ばしてしまおう、といった力量配分や本番での時間配分の目安を考えながら行いましょう。

◆直前の対策の基本は、できない問題にこだわるのではなく、得点していないできそうな問題を得点に結びつけることです。やれることをしっかりと準備して、怠りなく本番に臨みましょう。

中3国語

鈴木 佳 孝

◆今月は、「私立高校入試対策(古文)」についてお話しします。私立高校の入試問題は、各高校で独自に作成された問題です。そのため、古文の出題は高校ごとにかなり

り異なります。文章の量は、教行のところもあれば、和歌を含んで1ページ近いところもあります。問題数も5〜7問と異なっています。受験予定の高校の過去問は必ず確認しておきましょう。

◆問題は、古文の内容を把握できているかを問う問題がほとんどです。「うつくし」や「をかし」など現代と異なる意味を持つ単語が聞かれることが多いので、教科書や過去問の解説を読んだ覚えを、教料書また、問題で使われた文章が有名な作品の場合は、その作者や書かれた年代を問う問題も出ます。主な作品は押さえておいてください。

中3理科

出島 亜 紀

◆今月は、「私立高校入試対策」について大切なことを三つお話しします。一つ目は、計画的な勉強をすることです。入試範囲を確認し、スケジュールを立てましょう。その際には、弱点や苦手分野に重点を置くこととよいです。また、進捗状況をチェックし、進め方を調整することも大切です。二つ目は、効率的な学習方法を身に付けることです。集中力を高めるために、勉強する環境を整えること、短時間集中型の学習方法を取り入れることなどがおすすめです。三つ目は、過去問を活用することです。演習を通じて、理解度や苦手分野を把握して、克服しましょう。

中3社会

奥村 修 一

◆今月は、「私立高校入試対策」についてお話しします。まずは過去問を解いて、問題傾向をつかみましょう。知識が問われるのか、思考力重視か、その割合はどれくらいか。また、全体の文章量は多いか少ないか、記述問題の数や文字数はどうすべきなのかを知ら、明日からの勉強方法を決めましょう。

えします。まず述語、次に主語を押さえます。必要な目的語や修飾語を探し、頭の中でイメージを構築します。指示語や接続詞に注意しながら一文ずつそのイメージを積み重ねていきます。こうすると、読み返しを最小限にして文章を読むことができます。あせらずに、時間をかけて取り組んでみてください。

高校部

高校英語

福岡 正 樹

◆高1生は、「仮定法」を学習します。「仮定法」とは事実と反することを想像するの生活の中で「あの時〇〇しておけばよかった」と後悔することがよくあります。このように現実には起こらないことを表現するのに使うのが「仮定法」です。現在の事実と反する想像には「仮定法過去」、過去の事実と反する想像には「仮定法過去完了」を用います。「仮定法」の特徴として、このような「時のずれ」があります。「時のずれ」が生じる理由は授業で詳しく説明しますので、しっかりと「理解」してください。

◆高2生は、「形容詞・副詞」を学習します。この単元は高1生でも学習している単元ですが、高2生では大学入試で実際に出題された問題を解きながら、どのくらい「定着」しているか確認していきます。形容詞の「限定用法」と「叙述用法」、程度を表す副詞の「頻度」を表す副詞「程度」で頻出の問題を中心に扱います。「動詞」や「名詞」と比べ、「形容詞」「副詞」は語彙力が弱い受験生が多いです。今月学習した「形容詞」「副詞」は、単語カードや単語ノートを活用して必ず高2生のうちに覚えてください。

◆高3生は、1月18日(土)、19日(日)に共通テストが行われます。この冬休みはいよいよラストスパートをかける時です。実践形式で過去問を数多く解くと同時に、これまでで作成してきた「間違いノート」を活用して、最後の弱点補強を行います。自信を持って試験に臨むことができます。

きるはずですが。

高校数学

廻谷 紀 行

◆高1生は、数学II「式と証明」を学習します。まずは3次式の展開や因数分解、整式の割り算や分式式の計算など、多くの場面で必要となる計算が出てきます。正確かつ速やかにこなさなければならぬものなので、問題演習を通じてしっかりとマスターしてください。後半の等式・不等式の証明は、今後活用する機会が多い分野です。正しい証明の仕方を「理解」し、問題を見てすぐに証明のルートが浮かぶようになるまで練習を重ねてください。

◆高2生は、数学II「積分法」を学習します。以前にもお話ししましたが、この前に学習した「微分法」と合わせて、大学入試数学のメインを張るといっても過言ではない単元です。まず、微分の逆演算としての不定積分の定義を「理解」し、不定積分・定積分の計算を確実なものにしてください。その上で、定積分と面積の関係「理解」し、直線や曲線で囲まれた部分の面積を求められるよう演習を重ねてください。また、理系で数学IIIを入試に利用する予定の人は、数学IIIでも微積分は出てきます。その基礎となる数学IIの微積分は、高2生のうちにある程度応用まで「定着」させる努力をしてください。来年度が相当楽になりますよ。

◆高3生は、いよいよ共通テストまで1か月となりました。この時期が中心となってしまうとは思いますが、しかし、1月末から私立入試が、2月下旬には国公立入試が控えているのを忘れてはいけません。共通テストの先のことも考えて、学習計画を実行していきましょう。



私の勉強方法

塾生のひろば 大平校



◆<国語>漢字練習、苦手な所を繰り返し解く。<数学>公式を覚えて、繰り返し解く。<英語>単語練習、文法を覚える。<社会>教科書を何回も読む、苦手な所に印をつけて復習。<理科>教科書を何回も読む。

中3 I・R

◆国語は、ワークを2回やり、教科書を読む。漢字は苦手なものを練習する。社会は、ワークを解き直し、教科書を見返す。数学は、ワークを解く。理科は、教科書とワークを見返して暗記できるようにする。英語は、単語を覚えるまで書く。ワークは2回取り組む。

中3 T・H

◆私の勉強方法は、学校以外のワークやプリントをやること、社会と理科は一问一答をやること、数学はわからないところに似ている問題をやってやり方を覚えることです。

中3 Y・S

◆英単語、国語の漢字、社会の天皇・乱・重要単語は一问一答形式でやっています。理科、数学はワークと教科書のみです。

中3 K・C

◆私は、教科書に目を通して、ある程度覚えたら、ワークやプリント集に取り組みます。間違いがゼロになるまで問題を解きます。

中3 O・K

◆私は、ワーク1周、1周を時間をかけてやっています。わからない問題は、教科書やノートを見返して答えを探し、どうしてもわからない問題は答えを見て覚えています。

中3 S・N

◆国語の漢字や英単語は何回も何回も書いて覚えています。また、文章題や古文はテストの問題を解き直しています。社会と理科は、一问一答を繰り返し解いています。数学は、間違えた問題の解き直しをしています。

中3 K・T

◆私は、漢字は学校のワークを、社会や理科は一问一答を中心に繰り返しやります。数学は基本をやって、慣れてきたら応用まで練習します。英語は文法の形を覚えてから単語を覚えます。

中3 A・R

◆国語は、参考書を読んで、古文などの苦手分野を勉強します。数学は、応用問題を多く解いて問題の形式になれるようにします。社会は、単語帳に書いて繰り返し解きます。理科と英語は、参考書や過去の実力テストなどのものを繰り返し解きます。

中3 M・Y

◆私の勉強方法は、ワークなどを繰り返し解くことです。間違えた問題は、答えがスラスラ解けるまで何回も何回も勉強します。

中3 O・M

◆私は、社会や理科などの暗記科目はノートに何度も書いて覚えています。また、英単語や文法などはつづりを最初に覚えています。

中3 O・K

◆私の勉強方法は、英語の長文問題の英単語を練習したあとに長文問題に移り、内容を分かるようにしています。数学は、ワークでやった所の間違いを直し、意味のわからなかったところは、復習するようにしています。

中2 O・S

◆私は、漢字や英単語などはたくさん書いて覚えます。数学は苦手な問題をたくさんやります。社会、理科は重要な言葉を覚えません。

中2 K・S

◆僕の勉強方法は、主に教科書を見ることです。ワークはあまりやらないで、教科書で重要語句を読んで勉強しています。

中2 S・T

◆ワークをやったわからないところがあったら、答えを見てやり方を理解します。2周目は答えを隠して違うノートにやります。

中1 S・K

◆数学は、苦手な所を何度も復習します。英語は動詞などを繰り返し書きます。社会(地理)は地域の名前、その特徴を理解し、一つ一つ名前を覚えます。理科は、物質の名前、公式、実験で使う道具の名前を覚えます。

中1 S・K

◆私は、ひたすらワークを繰り返します。覚える単語などは、カードや赤シートを作って覚えています。1周目のワークは授業でやったその日にしています。

中1 U・S



塾生の皆さんには、一人一人が自分に合った学習方法で学力を伸ばし、友達と切磋琢磨しながら、自分の目標に向けて勉強に取り組んで欲しいと思っています。、コツコツと取り組む姿勢はやがて実を結び、自身をよい結果へと導くこととなります。たくさんの成功体験をつくり、モチベーションアップへとつなげてください。

大平校校長 熊倉 昌子

【私の勤める勉強方法】

勉強の速度を上げよう!

岩舟校校長
前田 匠

1. 1日の学習時間について

皆さんは普段、1日にどのくらい時間をかけて勉強しているでしょうか。中学生であれば1日最低でも3時間、可能なら4~5時間は勉強した方がよいです。しかし、ぼーっとして、時間だけ長くなるようではいけません。「問題集1ページあたり何分で解くか」をしっかり定めましょう。

2. 自分の勉強のスピードを知る

毎日何分間自習したか・何ページ問題集を進められたかを計るようにしてみましょう。例えば、問題集1ページにつき20分間かかるとします。定期テストで指定される5教科の問題集の範囲は平均120ページほどですから、約40時間で1回解き終わることになります。1日4時間勉強すると10日かかるので、テストの30日前から勉強を始めれば、問題集すべてのページに3回取り組むことが可能だということがわかります。このようにして、次の定期テスト等に向けて自分の学習速度を知っておきましょう。



3. 苦手な単元の対処法

苦手な単元や解き方を忘れた問題のページに取り組む際は、解く前に模範解答を熟読して、答え方を身に付けておきましょう。書いてあることが「理解」できないときは先生に質問をしてください。また、書けるようになりたい語句等は音読・書き取り練習を必ず行ってください。そして、「うん、なるほど!」と思えるようになったら、そのページを自力で解きましょう。すると、わからないまま解き進めるよりも早く解き終え、「定着」も早めることができます。

学習に後ろ向きだった単元が素早く解き終わると、達成感があり、自信もつき、「次は応用問題もやってみよう!」とやる気にもつながります。勉強のやり方を工夫して、前向きな気持ちで毎日勉強しましょう。少しずつ成績も上がってきますよ。頑張りましょう。



学力の向上を目指して...

私の勉強方法 No. 192

作新学院中等部(鹿沼東校) 3年 E・M

1. 計画を立てる

私が試験勉強で心掛けていることは三つあります。一つ目は、計画を立てて勉強を進めることです。試験までの期間をいくつか区切り、その期間に終わらせなくてはいけないものを決めます。期限を決めると、終わらせるために勉強をしなければいけないという気持ちになります。そうすることで、机に向かう時間を多くし、試験勉強を効率的に行うことができます。

2. たくさんの問題にふれる

二つ目は、たくさんの問題にふれることです。私が模試や過去問を解くときに、塾や学校で解いた問題と似ていれば、短時間で解くことができます。しかし、類題では

ない問題が出たときには、手が止まってしまうです。この経験から、たくさんの問題にふれ、試験問題で類題を増やし、「解けない」をなくせるようにしています。

3. 休憩の使い方

三つ目は、休憩の使い方です。少し休憩しようと思えば、スマートフォンを使用してしまうと、やめられなくなるが多々あります。また、記憶力が低下するとも言われています。そのため、休憩の時間に数学の基礎問題や漢字練習を行うようにしています。これからも、この三つのことを心掛けて勉強に一段と力を入れていきたいと思っています。

12月日程表

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1				
火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日				
正月特訓②	正月特訓①	冬期講習④	栃木放送開倫塾の時間	冬期講習③	冬期講習②	冬期講習①		2学期授業終了	中3日曜ゼミ④	栃木放送開倫塾の時間	中3土曜ゼミ⑫(栃木・茨城)⑬(群馬)					栃木放送開倫塾の時間	中3入試対策ゼミ⑭(東京)						中3日曜ゼミ③	開倫模試(全塾生 北関東 東京)						下野模試(中3)⑤	群馬県統一テスト(中3)⑧(中1・2)②	茨城統一テスト(中3)⑥(中1・2)⑤	北辰テスト(中3)⑦	都立Vもぎ①
																都立Vもぎ③							都立Vもぎ②											

※10月31日現在の予定です。

CRT 栃木放送「開倫塾の時間」・ラジオ栃木放送(1530kHz、1062kHz、864kHz <http://www.crt-radio.co.jp/>) 毎週土曜日午前9時15分~25分。塾長林明夫が、塾生だけでなく社会人も含めて一生涯活用できる「効果の上がる勉強方法とは何か」をテーマに、38年間語り続けている世界に1つしかないラジオ番組です。